

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2017-164162 (P2017-164162A)

【公開日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報 2017-036

【出願番号】特願 2016-50773 (P2016-50773)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 25 日 (2019.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、
前記画像表示部材の後方に位置し、光源を点灯して前記画像表示部材を後方から照明する点灯状態と、前記光源を消灯するもしくは点灯状態よりも暗く前記画像表示部材を照明する消灯状態とを、電氣的に切り換える照明部材と、
前記画像表示部材の後方に位置し、後方を視認可能にする視認可能状態と、前記視認可能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを、電氣的に切り換える透過部材と、

所定の入力があったことに応じて、前記照明部材を点灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域に、前記画像表示部材の後方を視認困難にする演出画像を表示する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載する遊技機において、

前記照明部材および前記透過部材よりも後方に位置する可動体と、

電源が投入されたことに応じて、前記可動体の動作確認制御を行う動作確認手段と、
を備え、

前記所定の入力は、前記動作確認制御を行っている期間中の、遊技球の特定領域への入賞である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明の遊技機は、

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、

前記画像表示部材の後方に位置し、光源を点灯して前記画像表示部材を後方から照明す

る点灯状態と，前記光源を消灯するもしくは点灯状態よりも暗く前記画像表示部材を照明する消灯状態とを，電氣的に切り換える照明部材と，

前記画像表示部材の後方に位置し，後方を視認可能にする視認可能状態と，前記視認可能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを，電氣的に切り換える透過部材と，

所定の入力があったことに応じて，前記照明部材を点灯状態とし，前記画像表示部材の画像表示領域に，前記画像表示部材の後方を視認困難にする演出画像を表示する表示制御手段と，

を備えることを特徴とする遊技機である。